



各 位

NPO放送批評懇談会（担当：中島／福島）

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

<詳報>第53回ギャラクシー賞贈賞式取材ご案内

平素より当会にはご理解ご支援を賜り、ありがたく御礼申し上げます。

テレビ、ラジオの番組、関係者に贈る賞として53年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。第53回の贈賞式を、6月2日に開催いたします。

テレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門各4部門の大賞、優秀賞、選奨が、贈賞式で発表されます。志賀信夫賞、テレビ部門個人賞・特別賞、ラジオ部門DJパーソナリティ賞、マイベストTV賞、そして今年新設の「フロンティア賞」の表彰も行われます。

6月2日の贈賞式をご取材いただき、各部門の受賞作品を報道いただくようお願い申し上げます。

■テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門入賞作品のみなさん

■志賀信夫賞 **山本雅弘** 毎日放送 相談役最高顧問

■フロンティア賞 **T V e r**

■特別賞 **国谷裕子** NHK「クローズアップ現代」キャスターとしての功績に対して

■個人賞 **遠藤憲一** テレビ朝日「民王」、BS日テレ「佐武と市捕物控」、関西テレビ「お義父さんと呼ばせて」の演技に対して

■DJパーソナリティ賞 **荻上チキ** TBSラジオ「発信型ニュースプロジェクト 荻上チキ・Session-22」パーソナリティとして

*ほか、受賞番組ゲストの出席を調整中

<贈賞式日程>

日時 2016年6月2日（木曜日）贈賞式 15:00～17:15

会場 セルリアンタワー東急ホテル ポールルーム（B2F）

東京都渋谷区桜丘町26-1 Tel. 03-3476-3000

第53回ギャラクシー賞入賞作品一覧

[2015年4月1日 ~ 2016年3月31日]

◎志賀信夫賞

山本雅弘 毎日放送
相談役最高顧問

◎マイベストTV賞 第10回グランプリ

木曜ドラマ「スペシャリスト」
テレビ朝日

◎ラジオ部門

- 憲法で巡る日本の旅
九州朝日放送
- 赤ヘル1975
中国放送
- 遠くなる戦争を語り継ぐ～女性ノンフィクション作家の対話～
日本放送協会
- 学生に夏休みはない 2015
毎日放送
- タモリのオールナイトニッポンGOLD Song&BOSSスペシャル
ニッポン放送
- SCHOOL OF LOCK!
エフエム東京
- エフエム仙台・TOKYO FM共同制作「ライターをつぶやき～河北新報の5年～」
エフエム東京 エフエム仙台
- Memorial Graduation 2016 ～小学校卒業生のメッセージ～
アップルウェーブ

DJパーソナリティ賞

荻上チキ

「発信型ニュースプロジェクト 荻上チキ・Session-22」(TBSラジオ)パーソナリティとして

◎CM部門

- 英進館 英進館中学部「歩く男篇」
英進館 電通九州 ティーアンドイー
- NTTドコモ 企業 シリーズStyle'20「マシュー篇」「アンジェリカ篇」「山田拓朗篇」「ベベ篇」
NTTドコモ NTTアド 電通 TUGBOAT 東北新社
- 大分県 おんせん県おおいた「シンフロ」
大分県 西広 ティーアンドイー
- 大塚製薬 カロリーメイト「見せてやれ、底力。篇」
大塚製薬 博報堂 catch AOI Pro.
- KDDI au「三太郎シリーズ」
「auスマ得キャンペーン 桃太郎とかくや姫篇」「au夏のトビラ・電宮城篇」「au夏ラインナップ 乙姫登場篇」「au WALLETT 電宮城ポイント篇」「auガラホ 海の声篇」「auスマートVリユア かくや姫の帰省篇」「au 電宮城ふるふる篇」
KDDI 電通 AOI Pro.
- サントリーホールディングス SONG&BOSSシリーズ 宇宙人ジョーンズ「時代篇」「恋人も濡れる街角篇」「喝采篇」「ヘッドライト・テールライト篇」
サントリーホールディングス シンガタ ワンスカイ 電通 ギークビクチュアズ
- サントリーホールディングス PEPSI STRONG ZERO桃太郎「Episode. 3篇」
サントリーホールディングス TUGBOAT 読売広告社 東北新社
- 東海テレビ放送 公共キャンペーン・スポット「戦争を、考えつつける」
東海テレビ放送
- 内閣府 消費者保護「毎日話せば詐欺は防げる」
内閣府 電通 電通クリエイティブX
- 日清食品ホールディングス カップヌードル シリーズ「バカッコイイ篇」
日清食品ホールディングス 電通 ソーダコミュニケーションズ
- 日本中央競馬会 企業「夢の第11レース」
日本中央競馬会 TUGBOAT 博報堂 スプーン
- 宮崎県小林市 移住促進シティプロモーション「ンダモシタン小林篇」
宮崎県小林市 電通九州 ロボット
- 早稲田アカデミー 企業「へんな生き物篇」
早稲田アカデミー アサツーディ・ケイ ロボット

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、6月2日(木)開催「第53回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社(者)名五十音順に記載。

◎テレビ部門

- 土曜ドラマ「64」
日本放送協会
- 能登消滅 9分の8の衝撃
テレビ金沢
- 報道ステーション 特集「沖縄“慰霊の日”に考える『日米地位協定』」
テレビ朝日
- 団地ともお スペシャル～夏休みの宿題は終わったのかよ?ともお～
日本放送協会
- 報道特集～終戦の日スペシャル
TBSテレビ
- ETV特集「書きかえられた”沖縄戦～国家と戦死者・知られざる記録～」
日本放送協会
- 金曜ナイトドラマ「民王」
テレビ朝日 アズバース
- NNNDキュメント15 シリーズ戦後70年「南京事件 兵士たちの遺言」
日本テレビ放送網
- 満州 富士見分村～戦後70年の証言～
エルシーブイ
- NHKスペシャル シリーズ東日本大震災「追跡 原発事故のゴミ」
日本放送協会
- 家、ついて行ってイイですか?
テレビ東京
- 木曜時代劇「ちかえもん」
日本放送協会
- 報道ステーション「特集 ノーベル賞経済学者が見た日本」「特集 独ワイマール憲法の“教訓”」
テレビ朝日
- 人生フルーツ ある建築家と雑木林のものがたり
東海テレビ放送

特別賞

国谷裕子

「クローズアップ現代」(NHK)のキャスターとしての功績に対して

個人賞

遠藤憲一

金曜ナイトドラマ「民王」(テレビ朝日)BS日テレ開局15周年特別企画時代劇「佐武と市捕物控」(BS日テレ)「お義父さんと呼ばせて」(関西テレビ)の演技

フロンティア賞

TVer

◎報道活動部門

- シリーズ「終わらなかった戦争～70年目の証言～」
札幌テレビ放送
- RSK地域スペシャル メッセージ
山陽放送
- 東住吉“放火殺人”事件についての10年間に渡る報道活動
テレビ朝日
- 続「小高区の農地復興」一連の報道
福島放送
- 「子どもが多いほど保育料が値上がりした問題」を追及取材
北海道テレビ放送
- 戦後70年シリーズ企画「戦後70年の地平から」
琉球放送



第 5 3 回ギャラクシー賞 贈賞式 取材要領

2016年6月2日（木曜日）

セルリアンタワー東急ホテル「ボールルーム」

取材受付 13：45、取材開場 14：00、開演 15：00

取材要領

■ギャラクシー賞贈賞式の取材をご希望の方は、申込書に必要事項をお書き込みのうえ、ファクスでお申し込みください。事前にお申込のない取材はお受けできません。

■スペースの都合により1紙/誌につき1人（カメラ別）、1番組につき1クルーでお願いします。

■撮影希望者（スチール、ムービーとも）は、13：45までに取材受付にご集合ください。（カメラ位置は抽選で決定。ただし申込多数の場合は、抽選によって会場にお入りいただけない場合があります。ご了承ください。）

第 5 3 回ギャラクシー賞取材申込書 Fax. 03-5379-5510

ギャラクシー賞贈賞式の取材を申し込みます。

会社名	
媒体名/番組名	
住所 〒	
担当者	Tel.
Email	Fax.
取材人数	スチールカメラ あり なし
	テレビカメラ あり なし
その他	



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、民放草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は1年単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会（毎月）が開催され、月間賞が選出されている。ラジオ部門も月例会を持ち番組を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎゃらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1、フロンティア賞 1

【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1

【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9

【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3

【その他】志賀信夫賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1

上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。

1963 年度（表彰は 1964 年）ギャラクシー賞誕生、第 1 回。

第 27 回、ラジオ部門独立。

第 31 回、ラジオ部門にDJパーソナリティ賞新設。

第 33 回、CM部門設立。

第 40 回、報道活動部門設立。

第 44 回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。

第 47 回、「志賀信夫賞」を新設。

第 53 回、テレビ部門がテレビの新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。



第 53 回ギャラクシー賞 テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門 2015 年度の傾向と選考経過

■ テレビ部門 ■

委員長 丹羽美之

副委員長 古川柳子

委員 出田幸彦 岩根彰子 太田省一 岡田芳枝 岡室美奈子 河野尚行 滝野俊一
藤久ミネ 水島宏明 宮崎美紀子

2015 年度のギャラクシー賞テレビ部門には、史上最多となる上期 184 本、下期 176 本、計 360 本の応募が寄せられました（その内訳は、地上波が 247 本、BS・CS が 49 本、制作会社が 55 本、CATV が 9 本）。今回も全国の放送局や制作会社から、数多くの秀作・力作が集まりました。これらの応募番組と月間賞受賞番組（47 本）について討議を重ねた結果、以下の 14 番組の入賞が決定しました（『入賞作品一覧』参照）。

2015 年は、戦後 70 年の節目の年ということもあって、アニメから、ニュースショー、ドキュメンタリーまで、戦争関連番組が数多く入賞しました（「団地ともお スペシャル～夏休みの宿題は終わったのかよ？ともお～」、「報道ステーション 沖縄“慰霊の日”に考える『日米地位協定』」、「報道特集～終戦の日スペシャル」、「ETV 特集 “書きかえられた” 沖縄戦～国家と戦死者・知られざる記録～」、「報道ステーション 特集『ノーベル賞経済学者が見た日本』『独ワイマール憲法の“教訓”』」、「NNN ドキュメント' 15 シリーズ戦後 70 年 南京事件 兵士たちの遺言」）。

また全国の切実な課題にそれぞれに向き合う地方発の番組にも力作が目立ちました（「能登消滅 9 分の 8 の衝撃」、「NHK スペシャル シリーズ東日本大震災『追跡 原発事故のゴミ』」、「人生フルーツ ある建築家と雑木林のものがたり」、「満州 富士見分村～戦後 70 年の証言～」）。

ドラマでは芸術性や娯楽性が際立つ 3 本の連ドラ（「土曜ドラマ 64」、「金曜ナイトドラマ 民王」、「木曜時代劇 ちかえもん」）が、バラエティでは一期一会の出会いから多様な人生模様が垣間見えると高評価を集めた即興バラエティ（「家、ついて行ってイイですか？」）が入賞しました。

（丹羽美之）



テレビ部門特別賞

国谷裕子

「クローズアップ現代」(NHK)のキャスターとしての功績に対して

1993年から2016年までNHK「クローズアップ現代」のキャスターとして現代社会が見せるさまざまな最前線のテーマに向き合ってきました。

なかでもスタジオでの専門家や当事者への緊張感溢れる生インタビューは番組の見どころであり、国谷さん自身の知性の輝きとともに事前勉強の密度を感じさせるものばかりでした。けっして持論を述べず、相手の目をひたと見つめて発する質問を重ねながら、問題の本質にかかわる言葉を引き出してきたその姿勢は、日本の報道番組のキャスターとして一時代を築き上げたといっても過言ではありません。テレビ報道のありようが問われる時代にあって23年間の功績はますますの輝きを放っています。

<国谷裕子プロフィール>

くにや・ひろこ キャスター。1957年大阪府出身、1979年米国・ブラウン大学卒業後、外資系会社勤務を経て、報道の世界に。81年「7時のニュース」(英語放送)、86年「NHKスペシャル」(NHK総合)、87年「ワールドニュース」(NHK BS1)のニューヨーク駐在キャスター、88年「ニューストゥデイ」(NHK総合)などの定時番組を担当。1993年4月～2016年3月まで23年間に渡り、「クローズアップ現代」(NHK総合)のキャスターを務めた。番組では社会問題を多角的に伝えて、視聴者に考える機会を提供した。1994年橋田寿賀子賞、96年放送文化基金賞、98年放送ウーマン賞、2002年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞を受賞。

テレビ部門個人賞

遠藤憲一

金曜ナイトドラマ「民王」(テレビ朝日)BS日テレ開局15周年特別企画時代劇「佐武と市捕物控」(BS日テレ)「お義父さんと呼ばせて」(関西テレビ)の演技

「民王」ではバカ息子と体が入り替わり何とも頼りなくなった総理大臣に扮し、威厳と軟弱という両極端のキャラクターを見事に演じ分け、抱腹絶倒のドラマの立役者となりました。「佐武と市捕物控」では、常に沈着冷静でありながら、ひょうきんさも併せ持つ魅力的な盲目の居合いの達人を演じ、特に歩き方と身振りは誰も真似ができないほど個性的でした。そして「お義父さんと呼ばせて」では、娘のような年下女性と結婚の約束をする中年男性を実にチャーミングに演じ、女性の父親とのやりとりも大いに笑わせてくれました。メインキャストを務めたこれらの作品で、2015年は長年培ってきた演技の実力が一気に花開いた年になりました。また、その他の連続ドラマにも切れ目なく出演するなど、今ではドラマにはなくてはならない存在になっています。まさに2015年のテレビ界を代表する俳優です。今後どのような役に扮し、どんな演技を見せてくれるかとても楽しみです。



<遠藤憲一プロフィール>

えんどう・けんいち 1961年6月28日生まれ。100倍以上の倍率をクリアして入団した無名塾を10日で辞めたり、「ピンポンパン」のお兄さんの最終選考に残ったりと、一風変わった経歴を重ねつつ、83年「壬生の恋歌」(NHK)でドラマデビュー。その後、88年「メロドラマ」(監督:小澤啓一)で映画デビュー。主な出演映画は12年「ツナグ」(平川雄一郎)、14年「土竜の唄 潜入捜査官 REIJI」(三池崇史)、15年「木屋町 DARUMA」(榎英雄)、他。ドラマは2009年「湯けむりスナイパー」(テレビ東京)、13年「かすていら」(NHK-BS プレミアム)、「ドクターX〜外科医・大門未知子〜」(テレビ朝日)、「ヤメゴク〜ヤクザやめて頂きます〜」(TBS)など多数出演。15~16年「民王」(テレビ朝日)、「佐武と市捕物控」(BS日テレ)、「お義父さんと呼ばせて」(関西テレビ)に連続して主演し、注目を浴びた。2015年第85回ドラマアカデミー賞でザテレビジョン特別賞、第1回コンフィデンスアワード・ドラマ賞で主演男優賞受賞。

ギャラクシー賞テレビ部門 フロンティア賞

テレビ部門では2015年度から新たに「フロンティア賞」を創設しました。ネットやスマホなどの普及によって、メディアをめぐる環境は大きく変化しました。過去の成功体験にしがみついているだけでは、テレビの未来はありません。失敗を恐れず、前例のない挑戦をする精神が、いまこそテレビに求められています。「フロンティア賞」は、文字通り、テレビの新境地を開拓し、その未来や可能性を広げる意欲的な取り組みを応援していきます。個々の番組にとどまらず、新たな仕組みづくり、継続的な活動なども幅広く対象として、テレビ部門委員会が選考します。

テレビ部門フロンティア賞

T V e r (ティーバー)

テレビの新境地を開拓し、その未来や可能性を予感させる萌芽的・挑戦的な番組・活動を顕彰する「フロンティア賞」。記念すべき第1回のフロンティア賞に輝いたのは「T V e r」。在京民放5社が連携し、テレビ番組を広告付きで無料動画配信するキャッチアップサービスとして2015年10月にスタートして、ユーザーから高い支持を集めています。T V e rの登場により、テレビ番組をスマホやタブレットで気軽に視聴できるようになり、日本におけるテレビ放送と通信の融合が加速しました。視聴者の利便性を大きく向上させ、まさに放送の未来を切り拓くフロンティアとなりました。

<T V e r>

ティーバー 在京民放5社(日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビジョン)が連携した公式テレビポータル。ユーザーが場所や時間にとらわれず、自分に合ったスタイルでテレビを楽しめる。2015年10月26日開始。パソコンやタブレット、スマートフォンで、各局の人気番組がすべて無料で視聴できる。



■ラジオ部門■

委員長 橋本 隆

副委員長 茅原良平

委員 池本孝慈 鵜飼一嘉 五井千鶴子 末田倫子 永須智之 中村亮平 縫 崇
松浦正和 三原 治 山本 索

上期 37 本、下期 39 本、計 76 本の応募があった。昨年より 4 本増加。

今期は「戦後 70 年」と「3.11 から 5 年」という大きなテーマがあった年、それに関連する番組の応募が多かったことと、それに対抗するかのようにレギュラー番組の中でもこれこそといった番組の応募があり、毎年のことであるが選考はかなり白熱した議論となった。また、コミュニティ局から特色を活かした<AM局、FM局何するモノぞ>と言った意欲を感じさせる秀作が出てき始めた。

<入賞番組> (放送日順)

★「憲法で巡る日本の旅」(九州朝日放送)は、憲法が大きな論点となったこの年、改めてその成立過程、条文の持つ意味等々を、それに関する日本中の場所を訪れる形で検証した。聞きやすく工夫して、若い人にも大人にも憲法をもう一度考えさせるきっかけを作った。

★「赤ヘル 1975」(中国放送)。当時弱小と言われていた市民球団「広島カープ」を、県民が一体となって応援する姿が復興作業と重なって見事に復興を成し遂げ、チームが初優勝するまでを描いた。

★「遠くなる戦争を語り継ぐ～女性ノンフィクション作家の対話～」(日本放送協会)は、「戦後 70 年」に当たり、全国の各局が地元で残すべき証言を収集する番組を制作したが、そういった活動の持つ意味と重要性を対話形式で訴えた。女性二人の持つ危機感に同感した。

★「学生に夏休みはない 2015」(毎日放送)は、政治の世界に久しぶりに登場した若者たち<SEALDs>。彼等を丁寧に取材し、若者たちの考えをしっかりと正確に伝えた。

★「タモリのオールナイトニッポン GOLD Song&BOSS スペシャル」(ニッポン放送)。さすがはタモリの一言。タモリが持つ情報・知識の多さ、好奇心の強さ、そして語りの上手さ、サービス精神と合わせてラジオ番組の本流であった。エンタテインメント番組として文句なし。

★「SCHOOL OF LOCK!」(エフエム東京)。ご存じ名物番組。“若い人と寄り添って”という番組コンセプトが活かされている秀作。今回も悩みを持つ女の子と真正面から向き合っただけの会話は聞いていて感動。誰にも負けない優しさを持った秀作。

★エフエム仙台・TOKYO FM共同制作「ライターをつぶやき～河北新報の 5 年～」(エフエム東京エフエム仙台)。大震災から 5 年の年の成人の日に、突然現われた謎の少女を中心に津波で亡くなった人、遺された人の思いをドラマで描いた。

★「Memorial Graduation 2016 ～小学校卒業生のメッセージ～」(アップルウェーブ)。コミュニティ局ならではの発想の異色の番組。“弘前市民全員の出演”を目指すという途方もない目標に沿って、今年小学校卒業生のショートメッセージを 1 週間かけて参加校の全員分を放送した。15 年続いている番組。こういった形の放送もあり得るのだと衝撃を受けた。

(橋本 隆)



ラジオ部門DJパーソナリティ賞

荻上チキ

「発信型ニュースプロジェクト 荻上チキ・Session-22」(TBS ラジオ) パーソナリティとして

「日本の新しい民主主義のためのプラットフォーム」を掲げ、これまでにない角度から社会を切っていく姿勢が刺激的です。「ポジ出し」(ポジティブな改善策の提案)の思想をベースに「任せて文句を言う」のではなく、「引き受けて考える」ためのヒントを提示しようとするスタイルにも好感が持てます。ただ単に問題提起するだけの評論家ではないのです。ニュースを単に解説するのではなく、ニュースに対する様々な語り方を聴かせてくれる理知的な話術や、魅力的で明るいトーンの声も印象的です。番組では、SNSの積極的な活用や、ニュースで問題になっている政治家の発言、記者会見の内容を全文書き起こし、ホームページに掲載するなどの挑戦的な試みを実践しています。番組中にもツイッターのつぶやきなどを参考にしながらトークを進めたり、ときにはツイッターで寄せられた質問を出演者に投げかけてみたりするのは、リスナーの探求心を満たすうえでとても効果的です。ニュース情報番組のキャスター・パーソナリティとして新たな分野を開拓してくれることを期待します。

<荻上チキ プロフィール>

おぎうえ・ちき 評論家、シノドス編集長。1981年兵庫県生まれ。成城大学文芸学部卒業、東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。学生時代から「成城トランスカレッジ」などのブログで人気ブロガーとして注目を集める。IT企業に勤務した後、芹沢一也と「株式会社シノドス」を設立。日本が直面するさまざまな課題について問題提起を行う。2013年4月からTBSラジオ「荻上チキ・Session-22」パーソナリティ。テレビは「NEWS23 クロス」「サンデーモーニング」(TBS)、「朝まで生テレビ」(テレビ朝日)、「新・週刊フジテレビ批評」(フジテレビ)、「ニッポンのジレンマ」(NHK)などにゲスト出演。著書に『社会的な身体』(講談社)、『検証 東日本大震災の流言・デマ』(光文社)、『僕らはいつまで「ダメ出し」社会を続けるのか～絶望から脱け出す「ポジ出し」の思想』(幻冬舎)他。



■ CM部門 ■

委員長 稗田政憲

副委員長 碓井広義

委員 秋吉淳一郎 小川幸子 草川 衛 汲田亜紀子 千葉健吉 服部千恵子
椛山珠美 山家誠一 横川紀子 吉江一男 若尾一彦

第 53 回ギャラクシー賞CM部門には、上期 140 本、下期 100 本、計 240 本（シリーズも 1 本としてカウント）の応募が寄せられました。30 秒、60 秒 CM は増加しましたが、シリーズ広告の大幅な減少と長尺 CM の減少で、残念ながら前回の応募数から 28 本の減となりました。テレビ広告費の減少と関連し、応募社が作品を厳選し絞った結果ではないかと思われます。一方、地方からの応募は 12 本増加し全体の 18% を占めるまでになりました。

投票と討議を重ねた結果、次の 13 本を入賞作品と決定しました。数学のよくある問題に引っかけて、中学生の男女の気持ちをうまく表した英進館「歩く男篇」、2020 年東京オリンピック、パラリンピックに向けて準備をすすめる未来のスターたちの努力する姿と、進化するハッピーな街の姿のつながりを描いた NTT ドコモ企業広告シリーズ、シンクロナイズドスイミングを温泉の中で行う大分県 PR 作品おんせん県おおい「シンフロ」。高校生活の日々をチョークで描いた黒板アートがすばらしいカロリーメイト「見せてやれ、底力。篇」。日本昔話の主役を登場させたシリーズで、ユーモラスかつ爽やかに描き多くの人に共感を与えた「桃太郎とかぐや姫篇」などの KDDI au シリーズ。『時代』『喝采』『恋人も濡れる街角』の歌詞をモチーフにした作品のサントリーホールディングス SONG&BOSS シリーズ。シリーズ第 4 弾で圧倒的な映像パワー、キジとカラスの対比的演出力の高さの PEPSI STRONG ZERO 桃太郎「Episode. 3 篇」。戦争について考え、伝えることの使命と責任を描いた東海テレビ「戦争を、考えつづける」。オレオレ詐欺を防ぐには、親と常にコミュニケーションを、と訴えた内閣府の消費者保護「毎日話せば詐欺は防げる」。くだらないが成功するとカッコいいと言ってもらえる「バカッコイイ」技に挑戦した日清カップヌードル「バカッコイイ篇」。史上最強馬はどれかを描いた日本中央競馬会「夢の第 11 レース」、外国語に聞こえていた言葉が、実は地元の言葉というまさかのオチが際立った小林市「ンダモシタン小林篇」。子供の不思議な行動を思い切り「へんな生き物」としてビジュアル、キーワード化した早稲田アカデミー「へんな生き物篇」。

13 本の入賞作品選出後に行いました大賞 1 本と優秀賞 3 本の決定は激戦の中、僅差での選出となりましたが、討議の結果、委員全員の総意で決定いたしました。

応募数は減りましたが力作ぞろいで、制作予算をふんだんに生かした超大作あり、各篇にしっかりとしたメッセージを示したシリーズ作品あり、アイデアあふれる作品ありと見せる工夫、記憶に残すための表現の多様性に努力が伺えました。

(稗田政憲)



■報道活動部門■

委員長 鈴木嘉一

副委員長 山田健太

委員 稲塚秀孝 岩崎信道 小原道雄 河邑厚徳 田中早苗 谷岡理香 旗本浩二 福島俊彦
矢後政典 横山隆晴

2015 年度の応募総数は上期 11 本、下期 19 本の計 30 本で、前年度に続いて 30 本台に達した。NHK と民放のキー局・系列局のほか、独立局、ケーブルテレビ、ラジオからも寄せられた。上期 4 本、下期 6 本に絞られた入賞候補作の中から、6 本の入賞作を選んだ。

15 年は戦後 70 年の年に当たったため、戦争関連の企画やシリーズが 12 本に上った。甲乙つけがたく、論議は長時間に及んだ。次に多かったのは、5 年を迎えた東日本大震災や防災・減災関連の 6 本だった。入賞作のうち、民放ローカル局が 5 作を占め、札幌テレビ放送は 3 年連続、北海道テレビ放送は 2 年連続の受賞となる。5 作とも地域に密着し、息の長い報道活動だった。

札幌テレビ放送「シリーズ『終わらなかった戦争～70年目の証言～』」。北海道周辺では 1945 年 8 月 15 日の玉音放送の後、ソ連軍が南樺太に侵攻し、戦争が続いた。択捉島などの元島民から貴重な証言を得るなど、北海道の局ならではの視点で戦後 70 年に取り組んだ点が評価された。

北海道テレビ放送「『子どもが多いほど保育料が値上がりした問題』を追及取材」。「少子化に逆行している」という疑問から出発した一連の報道は、札幌市役所を動かし、政令指定都市の市長会が国に制度の見直しと財政措置を求める決議につながったように、優れたキャンペーンとなった。

福島放送「続『小高区の農地復興』一連の報道」。2013 年の優秀賞受賞作の続編である。原発事故の影響を受けた福島県南相馬市小高区で、農業の再建をめざして苦闘する農家に密着し、地域の希望を探る粘り強い継続取材が再び評価された。

テレビ朝日「東住吉“放火殺人”事件についての 10 年間に渡る報道活動」。取材班は独自の燃焼実験や専門家へのインタビューなどで一貫して、「自白通りの犯行は不可能」と疑問を投げかけてきた。再審の扉は開かれ、8 月にも無罪判決が出る見通しである。調査報道のお手本と言える。

山陽放送「RSK地域スペシャル メッセージ」。2012 年 4 月から始まり、今春には 130 回を超えた。ゴールデンタイムで 1 時間の報道系ドキュメンタリー番組を定着させようとする地方局の志と意気込み、硬軟取り混ぜた多彩なラインアップには賞賛の声が相次いだ。

琉球放送「戦後 70 年シリーズ企画『戦後 70 年の地平から』」。離島での集団自決から始まり、悲惨な沖縄戦の経過を放送日に合わせる形でたどった。ただ過去を振り返るのではなく、米軍基地を抱える今日の沖縄を見据える問題意識と報道姿勢が光る。

(鈴木嘉一)



放送批評懇談会 第 7 回志賀信夫賞 山本雅弘

志賀信夫賞選考委員会

委員長 音 好宏

選考委員 橋本 隆 藤田真文 川喜田尚 飯田みか 丹羽美之

「志賀信夫賞」は、志賀信夫前理事長の長年にわたる放送批評活動の功績を記念して創設されました。番組制作に留まらず、放送局やプロダクションの経営、業界の新たな仕組み作りなどに、幅広い業績を対象に、広く放送文化、放送事業の発展に顕著な貢献をした個人を顕彰することが目的です。

当選考委員会が、慎重かつ多角的な討議を重ねた結果、第 7 回志賀信夫賞の受賞者に、毎日放送相談役最高顧問の山本雅弘氏を選出いたしました。

<選評>

山本雅弘氏は、在阪老舗民放局の知性派経営者として、民放連副会長や同放送番組審議会議長、放送番組センター番組保存委員会委員長などの要職を歴任。多メディア化・多チャンネル化、デジタル化といったメディア環境の変化が進むなかで、強いリーダーシップと大所高所からのバランス感覚のある言動で、日本の放送産業、並びに、放送文化全体の発展に貢献しました。

また、放送事業の経営環境が厳しくなるなかであって、毎日放送を「映像」シリーズなど、優れた番組作りのための環境整備を推進。毎日放送は、ギャラクシー賞の常連受賞局となるなど、毎日放送を斬新な着想と問題提起力のある放送局に進化させた。特に、放送における東京一極集中が指摘されるなかであって、独自性の強い地域立脚型放送局でありながら、地域を越えて発信をしていく「スーパーリージョナルステーション」を掲げるなど、デジタル時代の新しい地上民放局の姿を提示するとともに、関西発の放送文化、ポピュラーカルチャーの発展に多大なる貢献をし、日本の放送文化の多様性、奥行きを支えました。加えて、2007 年、存続が危ぶまれていた「地方の時代」映像祭の大阪招致にも尽力。大阪を拠点とするユニークな全国区の映像祭として、現在まで続いています。

長年にわたり、日本の放送文化の発展に寄与され続けてきた山本氏の活躍は、志賀信夫賞にふさわしいものです。

<山本雅弘氏プロフィール>

やまもと・まさひろ 1940 年 6 月 17 日、大阪府生まれ。1964 年京都大学法学部卒業、毎日放送入社。テレビ編成局長、取締役ラジオ局長、常務取締役テレビ本部長、専務取締役テレビ本部長、代表取締役社長、代表取締役会長などを経て現在、相談役最高顧問。主な公職として、関西経済同友会幹事、坂田記念ジャーナリズム振興財団理事、高橋信三放送文化振興基金運営委員長、関西フィルハーモニー管弦楽団理事、放送番組センター理事、一般社団法人おしるなにわ代表理事、関西大学客員教授、帝塚山学院理事などを務める。2007 年第 50 回大阪広告協会賞、2012 年旭日中綬章。



「志賀信夫賞」について

■会の設立から発展に貢献のあった日本の放送批評のパイオニア、志賀信夫（2012 年他界）の長年にわたる放送界への功績を記念して、2009 年度に設立した。

■本賞は、これまでのギャラクシー賞が受賞対象とする番組制作という枠にとどまらず、広く放送の発展に貢献する大きな業績を成し遂げた個人を表彰するものである。

したがって番組制作だけでなく、放送局やプロダクションの経営、番組制作の支援や放送周辺の分野、放送を中心とするメディアに関わる研究や批評活動など、幅広い分野で功績のあった方々を顕彰し、放送の更なる発展に役立てる意図を持つ。

志賀信夫 しが・のぶお／1929（昭和 4）～2012（平成 24）。放送評論家。福島県生まれ。53 年早稲田大学大学院文学研究科修了。57 年同大学講師。60 年放送評論家として独立。63 年放送批評懇談会の設立に参加、理事、78 年同理事長。79 年共立女子大学講師。81 年メディアワークショップ代表理事。85 年ビデオ映像文化振興財団理事。90 年多摩大学講師。NAB（全米放送事業者協会）東京セッション実行委員会会長、文化庁芸術祭審査委員、NHK 演出審議委員等を務める。『デジタル時代のパイオニア』（源流社）、『BS/CS 衛星放送新時代』（電波新聞社）、『映像の先駆者 125 人の肖像』（NHK 出版）など著書多数。自薦の優れた番組の評論を記録し、関係者の証言を集めるなどした『年間テレビベスト作品』を 30 年にわたり出版。2003 年には、テレビ評論の分野で初めて芸術選奨を受賞。

■志賀信夫賞過去の受賞者／肩書は当時

- 第 1 回 澤田隆治さん（日本映像事業協会会長）
- 第 2 回 後藤亘さん（エフエム東京取締役相談役、東京メトロポリタンテレビジョン代表取締役会長）
- 第 3 回 植村伴次郎さん（東北新社最高顧問）
- 第 4 回 藤田潔さん（ビデオプロモーション名誉会長）／TBS 『調査情報』
- 第 5 回 石井ふく子さん（テレビプロデューサー）
- 第 6 回 松尾羊一さん（放送評論家）



視聴者参加型のギャラクシー賞

ギャラクシー賞マイベスト^{テレビ}TV賞 グランプリ決定！

マイベストTV賞第10回グランプリ

木曜ドラマ「スペシャリスト」(テレビ朝日)

視聴者の評価、満足や感動の気持ちを、投票によって形にしたマイベストTV賞。「木曜ドラマ『スペシャリスト』」には、「先が読めないワクワク感と謎が多いドキドキ感が満載」「家族愛、仲間との絆など人間ドラマもしっかり描かれていた」「回を追うごとに主演の草彅剛の演技に凄みを感じた」といった視聴者の絶賛の声が数多く寄せられました。

無実の罪により10年間服役した刑事が、刑務所で得た犯罪の知識を基に難解な事件を次々と解決していくという異色のサスペンスドラマ。「わかるんですよ、俺。10年入ってましたから」という主人公の決めゼリフも毎回楽しみでした。映画版や続編の制作も期待されています。

解説

マイベストTV賞に参加したWeb会員は、2015年3月31日現在で15,661名。これに放送批評懇談会の正会員199名が加わった計15,860名がグランプリ作品の投票にあたった。

グランプリは、2015年4月度から2016年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作36本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められた。

546票を獲得しグランプリに選ばれたのは、「木曜ドラマ『スペシャリスト』」(テレビ朝日)。「新しいタイプの刑事ドラマ」「目が離せぬスピード感」「映画を見ているような映像」というコメントが寄せられるなど、投票者の高い支持を得る結果となった。

第2位は「日曜劇場『家族ノカタチ』」(TBS)。「視聴者の心にそっと寄り添ってくれるような温かいドラマ」「物語が丁寧に紡がれる良質なホームドラマ」など、ドラマの完成度を評価する声が多かった。

第3位は「木曜ドラマ『アイムホーム』」(テレビ朝日)。「記憶がなくなる前となくなった後の演技が全く異なりさすがだなと思った」「父親役をもっと見ていたかった」など、主演の木村拓哉の演技が高く評価された。

ベスト3はSMA Pのメンバーの主演作が占め、彼らの人気の高さがうかがえる結果となった。

なお、次年度は5月にスタートした新たな準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」で毎月の投票やグランプリ作品の投票にあたる。

(「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」については、別途リリースをご参照ください。)



最終投票結果

第 1 位	木曜ドラマ「スペシャリスト」(テレビ朝日)	546 票
第 2 位	日曜劇場「家族ノカタチ」(TBS)	503 票
第 3 位	木曜ドラマ「アイムホーム」(テレビ朝日)	502 票
第 4 位	NHK のど自慢チャンピオン大会 2016 (NHK)	468 票
第 5 位	年末ドラマ特別企画「赤めだか」(TBS)	286 票
第 6 位	中居正広の金曜日のスマたちへ「超! 気になる男 松岡修造」(TBS)	282 票
第 7 位	ようこそ、わが家へ (フジテレビ)	259 票
第 8 位	ヨルタモリ (フジテレビ)	247 票
第 9 位	連続テレビ小説「あさが来た」(NHK)	233 票
第 10 位	怪盗 山猫 (日本テレビ)	221 票

参考

★どんな賞?

「ギャラクシー賞マイベストTV賞」は、放送批評懇談会がNPO(特定非営利活動法人)になったことを節目として創設されることになりました。NPOとして、放送と市民との橋渡しとなるような活動を強化したいと考えたからです。放送局が送り出すたくさん番組たち。果たして視聴者はどんな番組を評価し、どんな番組を愛好しているのでしょうか。放送局や放送の作り手には、視聴者の声は届きにくいのが現実です。とくに、「よかった」「素晴らしかった」といった推奨の声はなかなか形になって表れません。視聴者の評価の声を形にしたい、視聴者の気持ちを放送局や制作者に届けたい——そんな思いから生まれたのが、「ギャラクシー賞マイベストTV賞」です。

★賞の本数、対象年度

ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ 1本
年度(4月~翌年3月) ごとの日本国内で放送されたテレビ番組が対象

★賞の仕組み

審査員は放送批評懇談会正会員とWeb会員(2016年度からはGメンバー)。選出はWeb上の投票でおこなう。
毎月の候補番組は放送批評懇談会選奨事業委員会テレビ部門が制定。
会員は毎月1回、候補番組の中から3本まで選んで投票。
得票の多かった3本が月間ノミネート番組に選出される。(投票の経過・結果はWebで発表)
会員は毎年4月、12か月のあいだに選出された月間ノミネート番組から、年間のベスト番組5本を選んで投票。この年間のベスト番組投票で、もっとも多くの支持を獲得した番組1本が、<ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ>に選出される。